

# 平成29年度 学校関係者評価報告書

— 平成28年度 自己点検・自己評価に対して —

学校法人 ホンダ学園  
ホンダ テクニカル カレッジ 関西  
平成30年2月



## 1. はじめに

学校法人ホンダ学園 ホンダテクニカルカレッジ関西では、文部科学省が示した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえ、学校の自己評価結果の客観性・透明性を高め、学校と密接に関係する方々の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること等を目的として、学校関係者評価を実施し、その結果を本報告書にまとめました。

学校関係者評価委員の皆様から頂いたご意見やご助言を今後の学校運営に活かし、教育機関としての一層の質保証・向上を推進していきます。

## 2. 学校関係者評価委員会開催概要

■ 日時 第1回委員会:平成29年 6月29日(木) 9:30~11:50

第2回委員会:平成29年12月 1日(金) 9:20~11:40

■ 場所 ホンダテクニカルカレッジ関西 1号館3F 136会議室

■ 評価委員 (敬称略)

氏名	会社	部署・役職	選任区分
太田 康	八千代工業株式会社	常務取締役 管理本部長	企業関係者 (委員長)
松岡 孝	本田技研工業株式会社	日本本部 地域人事室 主幹	企業関係者
辻井 茂満	株式会社 ホンダカーズ大阪	経理部 部長	企業関係者 (卒業生)
河井 政昭	株式会社 ホンダ泉州販売	営業部 サービス課 課長	企業関係者
泰地 孝志	ホンダテクニカルカレッジ関西 後援会	会長	保護者

■ 学校側出席者

氏名	部署・役職
五月女 浩	校長
寺尾 典篤	教務部部長 兼 一級自動車整備研究科 科長
藤本 昌伸	学務室 室長
白石 拓三	自動車整備科 科長 (6月のみ出席)
本多 章浩	教頭 (事務局)

### 3. 委員会次第

#### ■第1回委員会

- ・挨拶/新委員紹介
- ・ホンダ学園 方針説明
- ・募集状況
- ・就職状況
- ・平成28年度委員提言への取組み状況
- ・休退学状況
- ・登録試験 結果
- ・留学生学科設置進捗状況
- ・化学物質リスクアセスメント 推進状況

#### ■第2回委員会

- ・挨拶
- ・ホンダ学園 関西校近況
- ・募集状況
- ・就職状況
- ・休退学状況
- ・平成28年度 自己点検・評価報告書  
委員提言に対する取組み状況

### 4. 実施方法とまとめ方

第1回委員会にて、平成29年度の学園の方針の説明を行い、募集、就職、休退学、登録試験等の状況について委員会での課題共有を図りました。また、前年度の委員会提言に対する取組み状況についても報告しました。

第2回委員会に先立ち、平成28年度 自己点検・自己評価報告書に対する質問・意見を委員から収集し、委員会では基準1～基準10に対する説明と合わせて事前質問への回答及び質疑応答、議論を行いました。

次頁以降に、学園の取組み状況に対する委員からのご意見も含め、自己点検・自己評価報告書の基準ごとに評価結果(委員からの意見と対応の方向性)をまとめたものを記載いたします。

## 5. 評価結果(委員会からの意見と対応の方向性)

### 基準1:教育理念・目的・育成人材像等

委員会からの意見	対応の方向性
<p>① 平成28年度方針に、“教育内容と成果を積極的に对外発信し、選ばれる学園となることを目指す”と書かれています。積極的对外発信について実際の展開実績を確認させて下さい</p> <p>② 電動化や自動運転などの環境変化は予想を超えたスピードであり、将来の整備士に求められるモノへの対応は急務と考えます</p>	<p>① 以前からホームページで行事や講話の様子、資格取得状況などを公開していましたが、それに加えてFacebookやLINEなどのSNSを活用して学園の日常的な話題も含めて、よりタイムリーに情報発信しています</p> <p>② 学生が就職して求められる内容だけでなく、先進技術などをカリキュラムに反映していくように進めています</p>

### 基準2:学校運営

委員会からの意見	対応の方向性
<p>① 中期計画の方針に“競合他校に先駆けたカリキュラムの進化”を掲げていますが、具体的な方向性をどのように考えているかお聞かせ下さい</p> <p>② 学園の魅力付けへの取組みは学校だけでなく、Honda、販社、グループ企業が一体となって取組んで行きたい。例えば、先生方のスキルアップや育成に取り組んでいただいているが、更に魅力ある先生になっていただくために努力をお願いしたいし、企業からのサポートも行っていきたい</p>	<p>① ホンダ学園として普遍である「育成方針」に加えて、時代に適応する「最新技術」やより多様化する「お客様ニーズへの対応力」などを習得するためのカリキュラムへ進化を図っていきます</p> <p>② 良い人材を育成していくためには、Hondaグループ全体としての協力が必要だと本校も考えています。ぜひ、ご協力をお願いします</p>

## 5. 評価結果(委員会からの意見と対応の方向性)

### 基準3:教育活動

委員会からの意見	対応の方向性
<p>① 学園に入学する際は就職を視野に入れ、「どんな仕事をするか」ではなく、「その仕事を通じてどうしたいのか」を描けるようになると思います。「車を通じて社会の中で何ができるのか。そのためになぜ一級、もしくは二級を選ぶのか」など、販売店の仕事が従来の業務だけでなく今後は変化していくため、仕事を通じての「夢や社会的な価値」を考えてもらえるようにしていただきたいと思います</p>	<p>① 最近、高校1年や2年を対象にしたガイダンスでは学校のPRではなく、自動車整備学校全体をPRするような進めになっている場合が増えてきています。将来を考えてもらうには、ホンダ学園を卒業した後の就職も含めて考えてもらえるように、ガイダンスだけでなく、オープンキャンパスでも情報発信しています</p>
<p>② 国家試験対策において関東校との合同プロジェクトは大変良い取り組みだと思えますが、どのような事を行っているかご教示下さい</p>	<p>② 登録試験内容の振り返り・分析や今年度の登録試験対策を議論する会議を行っています。また、登録対策問題を共有して定期的に合同模試を実施するなどの取り組みを進めています</p>
<p>③ 車だけではなく、モビリティ領域に幅広く興味を持てるHondaらしい取り組みを考えたいですね。これらに興味を持つことによって基礎学力の向上を図っていききたい</p>	<p>③ トップトークや環境講話等を通じてHondaの活動を広く伝えると共に、新技術教育などに取り組んでいます。より幅を広げた検討をすることで、今以上に学生の興味を引き立てられるようにカリキュラムの見直しも進めていきます</p>
<p>④ 女性教員の確保・育成は早急に必要と考えます</p>	<p>④ 整備士を目指す女性も増えてきており、女性ならではのサポートも必要と考えています。女性スタッフに加えて、女性教員の採用を進めています</p>

## 5. 評価結果(委員会からの意見と対応の方向性)

### 基準4:教育成果

委員会からの意見	対応の方向性
<p>① 自動車整備だけではなく、ものづくりへの興味を持てる仕組みを構築できるといいと考えます</p> <p>② 友人に誘われたり、親や先生に勧められて入学してきている学生もいると思いますが、そういう学生の興味喚起はどのように行われていますか</p>	<p>① ものづくり教育は本校も重要と考えており、より興味を持ってもらえるように「開発系学科の進化」に取り組んでいます</p> <p>② 入試の面接では、自動車に対する興味を重点に確認するようにしています。また、普通科の高校から入学される学生も多いことから、入学後もより興味を高めてもらえるように入学期のオリエンテーションにレース観戦やクルマやバイクの乗車体験などを取り入れています。</p>

### 基準5:学生支援

委員会からの意見	対応の方向性
<p>① エコラン奨学金については、まずエコランで圧倒的な強さを学園が持てば魅力となると考えます。同好会活動を充実することで、より豊かな学生生活を送れるように更なる推進をお願いします</p> <p>② 留学生が増えることで、想定外のトラブルもあると思われるので事前検討が必要だと考えます。また、メンタル面での対応も専門医と連携が取れるように進める必要があります</p>	<p>① 競技に参加するのであれば上位入賞できるような活動が目標です。エコランを含めた同好会活動に学生が興味を持って、主体的により充実した活動を行なっていける環境を整えています</p> <p>② 現在、自動車整備科などですでに15名の留学生が本校で学んでいます。しかし、留学生科を開講して留学生が多くなることで、ご指摘のようにトラブルが起きる可能性も想定されるので、日本語学校などでの事例も参考にして事前検討を進めています。また、学生サポートのために外国人の職員の雇用も進めています</p>

## 5. 評価結果(委員会からの意見と対応の方向性)

### 基準6:教育環境

委員会からの意見	対応の方向性
<p>① SNSなどがコミュニケーション手段として使われることが多くなって来たものの、学生は人とのつながりを求めていると思います。「何でも相談できる人がいる」という環境を作っておいていただきたい</p> <p>② 寮の制度を変更して継続利用率が上がったとのことですが、それ以外にも古い制度が残っていませんか</p>	<p>① 何でも先生に相談してもらっていいのですが、なかなか話しにくい学生もいると思います。ホンダ学園では、専門のカウンセラーもいるので気軽に相談できるようになっています。また、学生同士で話し合える、相談し合える関係を作ることが大事だと考えています</p> <p>② 自宅通学可能な学生以外で、未成年の学生には入寮してもらっています。団体生活なのでルールを無しにはできませんが、緩和してきています。入寮時には団体生活への不安や抵抗があったという在寮生も、寮で生活していく中で仲間ができたり、寮生活だからこそ得られるものも多いと、寮生活を楽しんでいます</p>

### 基準7:学生募集と受け入れ

委員会からの意見	対応の方向性
<p>① 入学を考えている学生は不安も抱えていると思います。学生とその保護者の抱える不安を解決してあげることが必要だと思います</p>	<p>① オープンキャンパスの個別相談では、学生や保護者個々の抱える不安や問題を伺い、相談に乗っています。費用面の不安についての相談もありますが、奨学金や企業推薦などの制度があるので説明させていただいています</p>

## 5. 評価結果(委員会からの意見と対応の方向性)

### 基準8:財務

委員会からの意見	対応の方向性
特に意見はありませんでした	

### 基準9:法令等の遵守

委員会からの意見	対応の方向性
① Jアラート発令時の学園としての行動規範を検討下さい	① Hondaの対応を参考にして、学園全体として検討しています

### 基準10:社会貢献

委員会からの意見	対応の方向性
① 社会貢献については多方面への活動を高く評価します	① 今後も、継続して推進していきます
② 学生自らの提案による活動を支援できるようお願いします	② 学生が積極的に取組んでもらえるようにサポートしていきます



## 6. まとめ

学校関係者評価委員会において、学園の重点目標、平成28年度 自己点検・自己評価報告書の基準1～基準10について客観的に確認して頂き、学校運営の状況を評価していただきました。

委員会からの意見として、学生募集の強化、退学者数の低減の取り組み、授業内容の見直し等において多くのご意見をいただきました。ご助言を活かして学園の魅力を向上し、教育機関としての高みを目指すことで、社会的な課題である自動車整備士の人材確保に貢献していきます。